

2026年

2

5月9日

国見中 だより

文責 校長 陣内美紀

いよいよ明日 体育大会！



今年の体育大会は大変です。「大変」とは「大きく変わる」とも読みます。そう、今年の体育大会は「大きく変わる」ので「大変」なのです。何が変わっているのか、それは、「自分たちで作上げる体育大会」だからです。子どもたちは（特に3年生は）悩んでいます。困っています。なぜなら現在、体育大会練習の担当が日替わりだからです。今までは担任の職員ががっつり入って、子どもたちと、いやそれ以上に熱くなって、担任の叱咤激励や熱いアドバイスで優勝目指して取り組んでいました。いわば、担任カラーが強くて出た体育大会でした。ところが、今年は学年スタッフがすべてのクラスの「サポート」役として、指示や命令をしない、生徒が自分たちで考え、創り上げる体育大会となっています。担任が先頭切って教師主導の色が強かった体育大会が、「さあ、自分たちで考えて」となると、初めての経験でどうしたらよいか戸惑いも多かったと思います。ところが、さすがに順応性の高い子どもたちです。初めての経験は確かに時間がかかります。困ることもたくさん出てきます。それでもはじめはおそろおそろ、自分たちで考え、アイデアを出し合いながら、今では自分たちで動けるようになってきました。本当によく頑張っています。明日の体育大会は、表面的には例年と変わりなく見えるかもしれませんが、しかし、子どもたちは（特に3年生は）この経験を経て、「自信」・「自ら考える力」・「周りのために自ら行動する力」を育て、内面的に「大きく変わ」っているのではないかと思います。「きつかったけど楽しかった」この貴重な経験を、すべての生徒に味わってほしいと、職員もできるだけ指示・命令をしない、小世話を焼かないよう心がけています。指示・命令・先回りした世話は子どもの主体性を阻害します。事前に説明、指導をしたうえで、子どもに自分たちで活動させ、課題を挙げながら修正させるようにしています。近年、周りを見回すと日に日に「失敗が許されない社会」になっていると感じます。せめて、学校だけは「失敗できる」「失敗OK」の場所でありたいと思っています。「トライ&エラー」。たくさん挑戦して、たくさん失敗して、失敗した分だけ成長する環境が、中学校ではないかと考えています。明日は、子どもたちの成長の姿を楽しみにしててください。

体育大会見どころ



上記にもあるように、今年の体育大会は「自分たちで創る体育大会」です。各学年の種目も、自分たちで話し合って決め、内容やルールも自分たちで決定したものです。一番の見どころは何と言っても分団対抗創作ダンスです。曲決めから振り付けまで、自分たちで考えて、下級生に教え、分団をまとめるという一番エネルギーと時間がかかる種目です。3年生のダンスリーダーを中心に工夫を凝らした内容に仕上がっています。お楽しみに！

次は生徒会種目の「我進全笑～国見の乱～」です。生徒会本部がゼロから作り上げた種目です。「しっぽとり」をベースに、見ていて面白い種目になっています。本当によく考えられた内容です。

続いて、各学年の団体種目です。これも学年で生徒たちが話し合いを重ねて、自分たちで決めた種目です。特に3年生の「夢をひらくカゴいっぱい大作戦」は「棒引き」の綱バージョン「玉入れ」をセットにした競技で、見ごたえがあります。知恵と作戦が勝敗をわける種目となっています。2年生は「ムカデ競争」、1年生は「台風の目」と、安定の種目です。子どもたちの活躍をぜひ応援してください。

